

JILPT 調査シリーズ

No.178

2018年3月

大学生・大学院生の多様な採用に対する ニーズ調査

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



大学生・大学院生の多様な採用に対する ニーズ調査

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

ま え が き

本調査シリーズは、労働政策研究・研修機構が多様な選考・採用機会の拡大に向けた雇用政策の検討に資することを目的に実施した「大学生・大学院生の多様な採用に対するニーズ調査」について、基礎的な集計結果をまとめたものである。

近年、大卒就職内定率が上昇し、若年層の雇用関連指標も改善している。しかし一方で、大学生・大学院生が地元での就職を希望していながら、企業の受け皿が十分用意されていないというような指摘がある。仮に大学生・大学院生と企業の間において採用に関わるミスマッチが存在するならば、それを解消することによって、若年層が就業を通してさらに活躍できる環境を整備することは重要な課題である。

多様な選考・採用機会の拡大に向けた雇用政策を検討するためには、本調査のように大学生・大学院生にどのような雇用形態への応募意向があり、また彼らがどのような採用方法を求めているかを把握することが必要である。

雇用政策の企画・立案に、また、若年層の労働力供給に関する分析の基礎資料として、本調査シリーズを広く活用していただければ幸いである。

2018年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 菅野和夫

執筆担当者

| 氏 名 | 所 | 属 |
|--|-------------|--------|
| <small>なかの</small> 中野 <small>さとし</small> 論 | 労働政策研究・研修機構 | 副主任研究員 |

なお、アンケート調査票の設計は、浅尾裕（労働政策研究・研修機構 特任研究員）および中野論が行った。

目 次

| | |
|--------------------------|-----|
| 第1章 調査の目的と方法 | 1 |
| 第1節 調査の目的 | 1 |
| 第2節 調査の方法 | 1 |
| 第2章 調査結果の概要 | 2 |
| 第1節 回答者の概要 | 2 |
| 第2節 就職活動開始時の状況 | 6 |
| 1 就職活動を始めた時期 | 6 |
| 2 就職活動開始時の希望職種 | 7 |
| 3 就職活動開始時の希望就職先 | 13 |
| 4 就職活動開始時の限定正社員に対する応募意向 | 15 |
| 4.1 全般 | 15 |
| 4.2 地域限定正社員 | 16 |
| 4.3 職務限定正社員 | 25 |
| 4.4 勤務時間限定正社員 | 31 |
| 第3節 現在の就職活動の状況 | 35 |
| 第4節 就職活動を終えた学生の状況 | 36 |
| 1 就職活動を終えた時期 | 36 |
| 2 就職活動を終えた理由 | 38 |
| 3 就職予定先企業の業種 | 40 |
| 4 就職予定先企業での働き方 | 43 |
| 5 就職予定先企業での働き方は希望していたものか | 47 |
| 第5節 現在就職活動を続けている学生の状況 | 51 |
| 1 現在就職活動を続けている理由 | 51 |
| 2 希望する業種の変化 | 53 |
| 3 希望する働き方の変化 | 62 |
| 第6節 通年募集・秋季募集に対する学生の意向 | 67 |
| 第7節 海外留学の状況 | 71 |
| 第3章 おわりに | 77 |
| 調査票 | 79 |
| 付属統計表（%表） | 105 |